

中部圏No.1のニンジン産地 碧南市のブランドニンジン
『へきなん美人』収穫最盛期！

【1月9日（火）／選果・選別・箱詰め作業と収穫風景を紹介します】

JAあいち中央碧南人参部会（部会長：山中重信）が栽培する碧南市のブランドニンジン「へきなん美人」が、1月～2月にかけて収穫最盛期を迎えます。碧南市は中部圏No.1のニンジン産地です。収穫は11月中旬から始まっていますが、この時期が一年で一番甘くなります。これは、ニンジンの防御機能が働き、気温が下がっても凍ってしまわないように、糖分を蓄えるためと言われています。

2023年度作は、播種後の暑さや乾燥で生育への影響が心配されましたが、数日おきに散水するなど生産者の適切な管理に加え、暖冬の影響により肥大も良く「へきなん美人」の名に恥じない品質に仕上がっています。



収穫されたばかりの「へきなん美人」

美しく、そして甘い「へきなん美人」

「へきなん美人」の特長は、鮮やかな紅色と強い甘さ。ニンジン独特の臭みが少ないので、子どもやニンジンが苦手な方でも食べやすいと好評です。

＜色・味、それぞれのポイント＞

鮮やかな紅色を出すには、根（食べる部分）が伸びる秋ごろに温度が下がりすぎないことが重要。この地域では、約30cmの高い畝を立て、陽が当たる面積を増やすことで地面を温める工夫（これを行っている産地は珍しい）をしています。

甘みのポイントは①品種と②碧南の土質。「あいちの伝統野菜」の碧南鮮紅五寸をもとにしたオリジナル品種で、甘みの強い品種です。この種は部会員のみが使える門外不出のものです。また、碧南市はニンジンに最適な水はけの良い土質で、碧南で育てると「どんなニンジンでも甘くなる」と種苗関係者の間で評判です。

JAあいち中央碧南人参部会

- 部 会 員：117人 ■栽培面積：約118ヘクタール
- 出荷時期：11月中旬～3月下旬（「へきなん美人」は3月上旬まで）
- 総出荷量：約8,000トンを計画
- 販 路：中京地方の市場を中心に、北陸・関西・関東方面へ出荷



鮮やかな紅色と「へきなん美人」の名にふさわしい形が特長のひとつ

＜メディア対応日＞

- 日 時：2024年1月9日（火）／午前10時00分
- 集合場所：JAあいち中央碧南みなみ支店
（碧南市塩浜町7-115）

※当日は、施設（車で約10分移動）で洗浄・選果・箱詰め作業と畑（車で約10分移動）で収穫風景と生産者へのインタビューを撮影できます。

※対応日前後の天候等で、日時を変更する場合があります。

（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。

JAあいち中央総合企画部企画課（広報担当：高瀬、杉浦、山村）

TEL:0566-73-5504／携帯:080-3667-3853／E-mail:kouhou@jaac.or.jp